

領域「人間関係」にかかわる幼児の発達

0歳～3歳未満（ ）数字は月齢

0歳	<ul style="list-style-type: none"> ①抱き上げると泣き止む(1) ②人の顔をじっと見る(1) ③人の声がするほうを向く(2) ④母親の顔を見ると安心する(3) ⑤あやされると声を出して笑う(3) ⑥人を見ると笑いかける(3) ⑦いないいないバーを喜ぶ(4) ⑧親しみの顔と怒りの顔がわかる(6) 要求があるとき、声を出して親の注意を引く(7) ⑨人見知りする(7～8) ⑩親がいなくなろうとすると後追いをする(9) ⑪親の話しかけに答えようとする(11) 「マンマ」などと言って食べ物の催促する(11) ⑫ほめられると同じことを繰り返す(12) 「マンマ」などと言って空腹を知らせる(12)
1歳	<ul style="list-style-type: none"> ①幼い子供に近づいて服などに触る(15) ②子どもの中で一人で機嫌よく遊ぶ(15) ③子ども同士でおもちゃを取り合う(15) ④困ったとき助けを求める(18) ⑤名前を呼ばれると返事をする(18) ⑤子どもの後をくっついて歩く(21) ⑥友達と手をつなぐ(21) ⑩物をかたづけるのを手伝う(21) ⑥食卓の自分のものと他の人の物とを区別できる(21)
2歳	<ul style="list-style-type: none"> ⑦子ども同士で追いかっこをする(24) ⑧友達の名前が言えるようになる(24) 同年齢の子どもと二人で会話ができる(24) ⑨ほしいものがあったても、言い聞かせれば我慢して待つ(24) ⑩年下の子どもの世話を焼きたがる(30) ⑪友達とけんかすると言いつけに来る(30) ⑫「～しよう」というと「いや」が多くなる(30) ⑬ままごとで、父、母、赤ちゃん、客などの役をそのつもりになって行う(36) ⑭お店屋さんごっこでいろいろな店を作り、売り買いする。(36) ⑮友達に「～しよう」と誘いかける(36) ⑯なにかしてもらったら「ありがとう」とお礼が言える(36)

3歳以上

出典 田中敏明 (2014) 「幼稚園保育所指導計画作成と実践のための狙いと内容集」北大路書房

ねらい① 先生や友達とともに過ごす喜びを味わう

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の名前や顔を覚え、その場限りであっても一緒に遊んだり、あいさつし合う。 ◎友達と同じ場にいたり、同じことをするのを楽しむ。 ◎先生に少しずつ親しみを感じていく。 ◎先生の呼びかけでみんなが集まり、みんなと一緒に遊ぶことを遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎いつも一緒にいたい友達ができる。 ◎おはないちもんめ、あーぶくたなどのリズムカルな集団遊びをみんなで作る。 ◎電話ごっこなどで、相手とやりとりすることを楽しむ。 ◎お店屋さんごっこをみんなで作る。 ◎いすとりゲームを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎いろいろな場で、友達と楽しそうにおしゃべりし合う。 ◎気の合う友達以外にも、いろいろな友達と遊べるようになる。 ◎ほかのクラスの幼児にも親しみの気持ちを持ち、自分からかかわっていきこうとする。
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎気の合う友達と、好きな遊具を持ち出して遊びを楽しむ。 ◎その遊びに興味を持って集まった幼児どうしでうまく遊べる。 ◎気の合う友達以外にも、いろいろな友達と遊べるようになる。 ◎年長児やほかのクラスの幼児とも自然にかかわることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎集団で遊ぶことが好きで、ルールのある遊び、役割のある遊びを楽しむ。 ◎気の合う友達がはつきりしてきて、先生よりも友達とのつながりを大事にしようとする。 ◎年長の幼児と、とまどわないで一緒に遊ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎勝敗の勝ち、負けても意識して遊ぶが、負けてもそのあとは楽しく遊ぶことができる。 ◎ほかのクラスの遊びにも興味を持ち、参加しようとする。 ◎年長の幼児と一緒に当番や係りの仕事をしたり年長児から教えてもらうことを喜ぶ。 ◎仲のいい友達にこだわらず、大勢と一緒に遊ぼうとする。 ◎園内のどの先生にも親しみを持ち、かかわっていきこうとする。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎新しいクラスになれて、同じクラスの友達ということを意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎大勢の友達とつながって遊ぶ楽しさを求めるようになり、集団的な遊びや競争的な遊びを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎別の小学校へ行く友達がいることがわかり、一緒にの間を大事にしようとする。

ねらい② 高齢者に親しみ、うやまいの気持ちを持つ

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎お年寄りの出合いを楽しむに、一緒に歌ったり遊んだりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎お年寄りと最初はとまどいながらも少しずつ親しくなり、楽しんで遊ぶ。 ◎お年寄りが、おもちゃの作り方などを教えてもらうことに興味を持つ。 ◎年を取るとどうなるかがわかり、自分のできることをやってあげようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎お年寄りとほんのりとした感じがわかる。 ◎お年寄りの知識や技術に尊敬の気持ちを持つ。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎年を取ると、体が思うように動けなくなるといふことに気付く。 ◎お年寄りに席を譲ることの大切さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎お年寄りを迎えたなら、椅子をすめるなど、お年寄りに気をつかおうとする。 ◎お年寄りがおもちゃの作り方を教えてくれると興味を持つ。 ◎お年寄りに、歌や自分たちの遊びを喜んで教えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎これまでいろいろなことを教えてくれたお年寄りの人たちに感謝の気持ちを持つ。

ねらい③ 年少児や支えが必要な人などの気持ちを理解し、大切に支えようとする

年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎新入園児や年少児を遊びに誘おうとする。 ◎新入園児や年少児に、園内の決まりや生活の仕方を教えようとする。 ◎自分より小さい子や弱いの面倒を見ようとする。 ◎できる子ができない子に教えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎降書のある幼児との交流で自分のできる世話をしようとする。 ◎年少児にやさしく接しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分より小さい子に、生活や遊びの仕方を教えようとする。

ねらい⑤ 友達と積極的にかかわりながら、喜びや悲しみを共感しあう

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎一人遊びより友達と一緒に活動することが楽しいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達を誘って遊びをはじめ ◎自分から遊びの相手を求めたり、仲間に加わろうとする。 ◎喜んでいる、怒っているなどの相手の感情に気づく。 △勝ち負けの意識が出てくる。 △グループ間の競争で、どちらが勝ったかわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎どちらがよくできるか、友達と競争するようになり、勝ち負けを楽しむ。
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達がけがをすると、「大丈夫?」と心配し先生に知らせる。 ◎悲しんでいる子どもを慰めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎泣いている友達に同情したり心配したりし「どうしたの? だいじょうぶ?」などと声をかける。 ◎友達がうれしそうなどきどうしてなにか聞いてあげようとする。 ◎自分の作ったものを、友達どうしで見せ合うことを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の様子を見てうれしい、悲しいなどの気持ちを感じ取ろうとする。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達に頼まれなくても、友達に気配りしてほしいことに気がつき、やってあげる。 ◎友達に無理強いされると嫌われることがわかる。 ◎友達の作った作品などを大切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎競争的な遊びでは、自分のチームや友達を応援し、勝つと喜ぶ。 ◎人ができないうことができて、自慢するようになる態度は控えようとする。 ◎一人一人の力量がわかかって、力量の劣る幼児のせいでもうまくいかなくて非難したりせず受け入れられることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎気の合う友達と話しながら、気持ちがあわかってもらえる楽しさを感じる。 ◎友達が認められたり嬉ぶ。 ◎上手、へた、好き・嫌い、気が合う・気が合わないなどで友達の選り好みをしたり、仲間はずれにすることはないとわかる。

ねらい④ 先生や親に対して尊敬の気持ちを持つ

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎先生に親近感を持ち、先生と一緒に過ごすことを喜ぶ。 ◎母親の、家庭での主な仕事に興味を持ち、ある程度わかる。 ◎父親の仕事がわかり、関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎先生から何かしてもらったらお礼を言う。 ◎進んで先生の手伝いをしようとする。⇒ ◎先生は自分たちが帰ったあとも仕事をしていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎先生の仕事に関心を持ち、注意してみたり、自分から手伝おうとする。 ◎先生から1年間お世話になったことに対して、「ありがとうがとうございまして」とお礼を言う。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎先生からの指示や指摘を素直に受け入れようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎親の仕事がわかり、がんばっていることに尊敬の気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎先生たちや園の職員から長い間お世話になったことに対して、「ありがとうございまして」とお礼を言う。 ◎お父さん、お母さんにお礼を言う。

年長Ⅰ期

◎年少児を遊びに誘おうとする。

◎自分より小さい子ができてまで待ってあげようとする。

◎年少児がだしっばなしにしたものをかたづけけてあげようとする。

◎自分より小さい子にたたかかれても許すことができる。

年長Ⅱ期

◎年少児と遊ぶときは、年少児の力やペースに合わせて遊びを進めようとする。⇒

年長Ⅲ期

◎お年寄やおなかの大きい女性に席を譲ろうとする。

年少Ⅰ期

◎先生に親近感を持ち、先生と一緒に過ごすことを喜ぶ。

◎母親の、家庭での主な仕事に興味を持ち、ある程度わかる。

◎父親の仕事がわかり、関心を持つ。

年少Ⅱ期

◎先生から何かしてもらったらお礼を言う。

◎進んで先生の手伝いをしようとする。⇒

◎先生は自分たちが帰ったあとも仕事をしていることがわかる。

年少Ⅲ期

◎先生の仕事に関心を持ち、注意してみたり、自分から手伝おうとする。

◎先生から1年間お世話になったことに対して、「ありがとうがとうございまして」とお礼を言う。

年長Ⅰ期

◎先生からの指示や指摘を素直に受け入れようとする。

年長Ⅱ期

◎親の仕事がわかり、がんばっていることに尊敬の気持ちを持つ。

年長Ⅲ期

◎先生たちや園の職員から長い間お世話になったことに対して、「ありがとうございまして」とお礼を言う。

◎お父さん、お母さんにお礼を言う。

ねらい⑥ 自分の思いを相手に伝え、相手の思いに気付く

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達に対して自分の思いを出せるように伝えようとする。⇒ ◎いやなことは、はっきりといやと言える。 ◎思うようにいかないことがあっても、かんしゃくを起さしたり、友達をたたいた言葉で主張しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分のしたいことを先生に伝える。 ◎遊びに加わりたとき、その思いを伝えようとする。 ◎友達に対して、自分のしたいことを主張しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思いが相手に伝わるように、一生懸命伝えようとする。 ◎相手の思いをある程度受け入れようとする。 ◎友達に迷惑をかけたなら素直に謝ることができると言わなくても、「ごめんなさい」といえる。
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎一緒に遊ぶ中で、相手の思いを感じようとする。⇒ ◎自分の思いどおりにならない幼児でも、一緒に遊ぼうとする。 ◎自分に思いがあっても、ある程度友達に合わせるようにしようとする。 ◎友達が作った作品などを大切に思う気持ちが変わり、友達の物も大切にしようとする。 ◎助けが必要とき、友達に頼もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の怒りや悲しみを、友達にしつかり伝えようとする。 ◎集団遊びの中で、自分の考えを積極的に表現しようとする。 ◎相手の言いたいにならないで、主張すべきことはちゃんと主張しようとする。 ◎自分の知っていること、できること、発見したことを友達に伝えて、友達から認められてもらう。 ◎誕生会で、誕生日の友達が喜びそうなプレゼントを考えることを喜び、 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思いと相手の思いには違ふところもあるということに気付きはじめる。 ◎自分の思いを出したり、友達の提案を受けたりして、遊びを進展させようとする。 ◎自分の思いや要求と相手のそれとは違ふことがあることに気付く、相手の思いや要求を考えたり取り取りをしようとする。 ◎トラブルをめぐると話し合いでは、相手を一方的に非難せず、相手の言い分も聞こうとする。⇒
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思いを出しながら、友達に同意を求めたりして自分の思いを確認しようとする。 ◎自分が得意だと思ふところを發揮しながら、譲るところは譲り、受け入れたいところは受け入れようとする。 ◎遊びや約束を、必要な場面で、自分たちで話し合おうとする。 ◎話し合いでは、みんなが自分の意見を出し、相手の考えも受け入れることができる。⇒ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎相手の言うこともしっかりと聞こうとするようになり、話し合いでみんなが意見を出し合う。 ◎自分のやりたいことだけでなく、友達のとらえながら、することを決める。 ◎自分のイメージと友達にイメージが同じになるように、教え合ったり話し合ったりする。 ◎グループのみんなが納得できる結論を出そうとする。 ◎話し合いで、一部の幼児だけ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分が正しいと思ふことを主張するが、ほかの意見にも耳を傾ける。 ◎友達どうして意見がぶつ合っても、お互いの意見が一致することを喜び、

◎話し合いで一部の幼児だけに都合のよい結論になりそうだと、それではだめだと主張できる。

- ◎ほかの子に邪魔されたとすき、静かになだめようとする。
- ◎話し合いでは、みんなが自分の意見を出し、相手の考えも受け入れることができる。
- ◎グループのみんなが納得できる結論を出そうとする。

けに都合のよい結論になりそうだと、それではだめだと主張できる。

ねらい⑦ 友達と、お互いのよさに気付きながら一緒に活動することを楽しむ

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達と一緒にいることを喜び、遊びが持続するようにする。 ◎年長の幼児から親切にしてもらうことを喜び、年長の幼児に親しみを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎3～5人の友達と、気に入った遊びを楽しむ。「同じグループ」という意識が出てくる。 ◎年中、年長児との遊びに興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達のことについて、持っている物などに関心を持ち、自分も同じようにして遊ぼうとする。 ◎友達のアイデアを受け入れ合おうとする。
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の作ったものに関心をもち、作ったものを見せ合うことを喜び、 	<ul style="list-style-type: none"> ◎好きな友達の好きなおもちゃ、その友達の好きなおもちゃ、好きなものがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の作品や発表をほめることができる。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎自分のクラスだけでなく、ほかのクラスの幼児も誘って遊ぶ。 ◎友達のよいところに気付く、先生やほかの友達に知らせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎気の合う友達とイメージを共有して、遊びを進展させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分のクラスだけでなく、ほかのクラスの幼児も誘って遊ぶ。 ◎友達のよいところに気付く、先生やほかの友達に知らせることができる。友達とのよさを認め、先生やほかの幼児に伝えることができる。

ねらい⑧ 共通の目的を持って友達と協力し、役割をはたそうとする

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎自分のクラスだけでなく、ほかのクラスの幼児も誘って遊ぶ。 ◎友達やほかの友達に引き、先生やほかの友達に知らせることができる。 ◎集団で遊ぶことの楽しさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分のクラスだけでなく、ほかのクラスの幼児も誘って遊ぶ。 ◎友達やほかの友達に引き、先生やほかの友達に知らせることができる。 ◎だれとでも集団遊びができる。 ◎友達と、遊びの相談をする。 ◎譲り合うことの大切さを知り、実際にときどき譲り合ったりしようとする。 ◎そのまま遊びなどで、それぞれの役割がわかる。 ◎ままごとで父、母、子どもなどの役になって遊ぶことを楽しむ。 ◎グループ競争で、自分のチームを応援しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ごっこ遊びで自分の役割を理解し、役割を分担しながら、それぞれの役割を把握してごっこ遊びを楽しむ。 ◎友達どうしで「○○しよう」と提案し合いながら遊びをすすめる。 ◎トラブルが起きたときは、先生に解決を求めることができる。
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎ごっこ遊びなどで役割を決めて遊びはじめる。⇒ ◎自分は○○組という意識。同じクラスの友達という意識を持つ。 ◎砂場で、何人かで力を合わせて1つの山を作ることを楽しむ。 ◎2～3人で1つの絵を完成させることを楽しむ。 ◎自分のチームが勝つと喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎グループで一緒に活動することの楽しさがあり、一緒に行動しようとする。⇒ ◎「クラス」で「みんな」と一緒にという意識を持つようになる。 ◎友達がうまくできないうときは、励ましたり協力したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達と相談して物事を決めようとする。⇒ ◎クラスみんなを取り組む活動にみんなの活動という意識を持ち、全体に合わせようとする。 ◎5～6人のグループで遊びや仕事の相談ができる。⇒ ◎特定の友達だけでなく、だれにでも親切にしようとする。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎だれとでも集団遊びができる。 ◎ときどきは譲り合ったりしようとする。 ◎ままごと遊びなどで、それぞれの役割がわかる。 ◎グループ競争で、自分のチームを応援しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎共通の目標を持って、お互いの意見を受け入れながら、共同の作品などを作る。⇒ ◎自分だけでなく、チームやグループのことを考えた提案をしようとする。 ◎必要に応じて、遠からしくつかのグループが合流し 	<ul style="list-style-type: none"> ◎クラス全体で、1つの目的に向かって、力を合わせて取り組んでいこうとする。 ◎クラスの意識が深まり、クラス対抗のドッジボールなどで、力を合わせてがんばる。 ◎みんなで協力してかたづけようとする。

<ul style="list-style-type: none"> ◎友達と相談して、何を始めるか決めてから遊びをはじめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎遊びを進展させることができる。 ◎運動会に向けて友達と共通の目標を持ちながら、協力して運動することの楽しさを感じる。 ◎発表会などに向けて、こんな劇がしたい、こんな楽器がしたいと提案し、自分たちで会の内容を考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎劇遊びやごっこ遊びの役割を、幼児の個性や男の子、女の役などを考えながら、自分たちで決めようとする。 ◎お別れの会に意欲的に取り組み、自分の意見を出し合ったり、歌や劇の内容を考えたり、せりふを決めたりする。
--	--	--

ねらい⑨ 思いやりの気持ちを持つ

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達がけがをしたり、なにかトラブルがあったときは、先生に告げる。 ◎友達に頼まれなくても、友達に助けがほしいとお願いする。 ◎友達に助けがほしいとお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎グループの中で、だれが休みがわかる。 ◎友達や先生が困っているのを、助けてあげようという気持ちを持つ。⇒ ◎だれでも自分の遊び仲間に入れてあげようとする。 ◎友達に、遊びの仲間に加わるように誘おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ほかの友達に、自分の物を分けてあげようとする。 ◎身の回りの始末を忘れていたり、手伝ったりと、声をかけたり、手伝ったりと、声をかけたり、手伝ったりと、声をかける。 ◎友達に服を着せられようとする。
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎友達に頼まれると、友達がしてほしいことを喜んでやってみようとする。 ◎友達の物がなくなったり、一緒に遊ぶことができないときは、友達がほしいとお願いする。 ◎自分が使っている道具や材料を、自分から友達に貸したり、分けてあげようとする。 ◎クラスの中でだれが休んでいるかわかる。 ◎友達がけがをすると、「大丈夫?」と心配し先生に知らせる。 ◎悲しんでいる子どもを慰めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎当番など、友達のためにしてあげることがある。⇒ ◎自分のかたづけが終わっても、友達や年少児のかたづけの手伝いをする。 ◎会話の少ない幼児に、自分の方から話しかけようとする。 ◎役や順番、自分が使っているものを、自分から譲ったり、交換してあげようとする。 ◎木の実や落葉拾いなどにいき、先生の言葉かけで、休んでいる友達の方も持つてかえってあげようという気持ちを持つ。 ◎グループ活動で、別のグループを加勢しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎当番になって、みんなのために仕事をすることを楽しむ。 ◎その日欠席している友達のことを心配して、「どうしたの?」とたずねる。 ◎だれにでも親切にしてあげることの大切さがある。

年少I期	年長II期	年少III期
<ul style="list-style-type: none"> ◎ほかの友達が倒れたら助け起こそうとする。 ◎泣いている友達に同情したり心配したりし「どうしたの?」「だいたいどうぶ?」などと声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎話し合いで、なかなか意見の言えない幼児の発言を待ってあげようとする。 ◎お休みした幼児が登園してくると、休みの間に集めた物などを分けてあげようとする。 ◎お休みした幼児が登園してくると、休んでいた間のこととを教えあげようとする。 ◎木の実や落ち葉を探しに行き、見つけても全部持ち帰らずに残しておこうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎仲間に入れないいる幼児に声をかけ、誘おうとする。

ねらい⑩ よいことや悪いこと、正しいこと、まちがっていることに気付き、考えながら行動する

年少I期	年少II期	年少III期
<ul style="list-style-type: none"> ◎園では、しなければならぬこと、してはいけないこと、があることに気付く。⇒ ◎人をたたかたことはいけなことがわかる。 ◎先生から禁止されたら、やめようとする。 ◎トラブルになったとき、なんとか解決しようという気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分が友達に対して悪いことをしたということに気付く。⇒ ◎悪いと思ったとき、謝ることの大切さに気付く。 ◎絵本などの登場人物の、「よい人」、「悪い人」がわかる。 ◎自分のものと他人のものが区別できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人のいやがる事がわかるようになる。⇒ ◎人のものを黙って使うのはよくないことがわかり、こどわってから使おうとする。 ◎友達がずるいことをしたとき、「ずるい」と言う。 ◎自分の言葉や行動が相手に傷つけたり、いやな気持ちにさせることがあることに気付く。

年中I期	年中II期	年中III期
<ul style="list-style-type: none"> ◎人のいやがるようなことがあある程度わかり、しないでおこうとする。 ◎人のものを黙って使うのは悪いということがわかり、こどわってから使おうとする。 ◎意地悪な言葉、言われるといやな言葉がわかるようになる。 ◎うそをつくのは悪いということがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎園生活のなかの多くの事柄について、いいこと、いけないことがわかり、いけないことはしないという気持ちを持つ。 ◎保育者、友達、お客さんに関心があったりもたたいたり、悪い言葉を使うなどの方法で注意を引くのはよくないことがわかる。 ◎友達に悪いことをしたら、自分から謝ろうとする。 ◎友達が何かしているときは邪魔をしてはいけないことに気付く。 ◎先生が見ていないくても、人のいやがることはしないようにする。 ◎自分が相手にいやなことをしたと思ったときは、謝る。 ◎けんかを仲裁しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「人に言うてはいけないことがある」ことに気付く。 ◎友達との約束を忘れたときは、素直に謝ることができると。 ◎ずるい方法で勝つのはよくないことがわかる。 ◎自分の行動がよかつたか悪かつたか、考えてみようとする。⇒ ◎相手の思いを抑え込んで自分の思いを通すことはよくないことがわかる。 ◎保護者が話しているときは私語やいたずらを我慢しようという気持ちを持つ。
年長I期	年長II期	年長III期
<ul style="list-style-type: none"> ◎よいこと、悪いことについて自分の基準を持ち、悪いと思うことはしないようにする。⇒ ◎なせうそをついてはいけないうかがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ルール違反、共同のものをひとり占め、ひきよな振る舞いは許されないういう気持ちを持ち、お互いに注意し合う。 ◎ルール違反やずるい行動に對してはまきり注意できると。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎人に喜んでもらえることや手伝いを喜んでする。 ◎自分の行動がよかつたか悪かつたか、考えてみようとする。

ねらい① 決まりや約束の大切さに気付き、守る

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎先生が集まるように言うこと、していることをやめて集まろうとする。 ◎友達のものや友達が使っているものを使うときは「貸して」と言って、承諾を得てから使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達と遊ぶときは、決まりや約束が必要なきことに気付く。 ◎簡単なルールのある遊びをし、先生や友達と一緒に楽しむ。 ◎自分の順番を待つことができ、友達と順番に物や道具を使おうとする。 ◎先生が指示したとおりに行動しようという気持ちを持つ。 ◎先生の援助をもとに、ルールに従った集団遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎トイレなどで、並んで順番を待つことができる。 ◎ルールがあると、遊びがスムーズにいくこと、ルールは大切であることがわかり、守ろうという意識を持つ。 ◎おにごっこで陣地にいれっぱつかまならないことがわかる。 ◎先生が質問をした時、手を挙げて指名されてから答える。
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎先生の許可が必要なものがわかり、許可を得てから使う。 ◎約束や決まりは守ろうとする。 ◎友達と相談して、順番を決める。 ◎約束や決まりを守らなかつた幼児に、守るよう注意する。 ◎△7～8人のゲームや遊びで、順番を待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎意見が分かれたときなど、ジャンケンで解決する。 ◎クラス全体の集団行動でも、ルールに従って行動できる。 ◎遊びが楽しくなるように、自分たちでルールを変えたり、ルールを作ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達とけんかしたとき、話し合いで解決しようとする。 ◎トラブルが起きたら、話し合っ解決しようとする。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎共通のルールに従って集団遊びをすることを喜ぶ。 ◎遊びや生活、仕事の決まりなどを自分たちで決めようとする。 ◎ルール違反や約束が守られないことに対して、お互いに注意し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ルールの足りないところやルールの矛盾に気がつき、幼児同士で話し合いながら、新しいルールを付け加えたり、修正したりする。⇒ ◎遊びの中でトラブルがおきると、ルールを工夫してトラブルを防ごうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えを出し合っ、ルールのある遊びをより楽しくしようとする。 ◎遊びに必要な決まりや約束を作り、お互いに注意し合ったりして守り合おうとする。 ◎友達にルールを説明したり、わからないことをたずねたりする。

ねらい② 共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う

年少Ⅰ期	年少Ⅱ期	年少Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎「自分のもの」、「友達のもの」、「みんなのもの」の区別ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎遊具や教具などを、順番、交替で使わなければならないことに気付く。 	
年中Ⅰ期	年中Ⅱ期	年中Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎みんなのもの、みんなで使う物ということがわかり、自分の物と区別できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎共同のものでも大切にしようとする。⇒ ◎園庭の遊具や草花はみんなのものということ意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎みんなのものでも自分のものと同じように大切に扱おうとする。
年長Ⅰ期	年長Ⅱ期	年長Ⅲ期
<ul style="list-style-type: none"> ◎園のもの、クラスのもの、自分のものをしっかり区別して遊ぶことができる。 ◎共同の遊具などを譲り合って使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎共同の遊具や用具を、約束を決めて交替で使おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎遊具、用具や場所などが、自分たちのために順番に、かどわかかわかり、順番に、大切に使うことができる。